

学校教育目標

意欲に燃え、自ら学ぶ生徒【自学力】

規律を守り、責任を果たす生徒【責任感】

剛健で、実践力のある生徒【実践力】

5種目優勝！新人戦好成績！！

～この経験を来年にどうつなげるか～

9月7・8日の両日に開催された二戸地区新人大会は、新体制になって初めての公式大会でした。

各競技とも熱戦を繰り広げた末、以下のように好成績を収めました。全校朝会での表彰式では、ステージいっぱい受賞者が並び全校で讃え合いました。



【団体競技】

- 1位 野球部、サッカー部、卓球（男子）
柔道（女子）、剣道（女子）
2位 卓球（女子）、バレーボール（男子）
ソフトテニス（男子）・（女子）
柔道（男子）、剣道（男子）

【個人競技】（県大会出場）

[ソフトテニス]

- 1位 田中柑菜・浪岡美桜
2位 高山陽輝・上山和大
3位 上平姫衣・堂ヶ澤音美

[剣道]

- 1位 吉澤夏月
3位 工藤武龍 田中珂帆 5位 工藤汰一

[卓球]

- 2位 夏井伸次郎
3位 柳林由暉 浪岡凜乃

[柔道]

- 1位 向久保笑迦 小野寺理子
2位 田村悠士 松本太尊 小笠原虎大朗
三浦月愛 千葉柚花

大会では、優勝まであと一歩という試合もありました。今回の大会は、来年度の中総体に向けたひとつの通過点です。今回の結果、経験をどう生かすか。今後の取組に大いに期待しています。

「思う念力 岩をも通す」

次代を担う新役員誕生

～福中・自分はどうあるべきか～

9月18日（水）に生徒会役員選挙（立合演説会）を開催しました。立候補した23名とも、理想の福岡中や委員会の姿について堂々と演説し、それを聞く投票者それぞれが真剣に考え一票を投じました。投票の結果、立候補者全員が当選し、次代を受け継ぐ生徒会の姿かたちが見えてきました。

応援団長	副議長	議長	本部役員						副会長		会長
内田 龍星	田中 珂帆	小笠原慶士	田村 莉乃	泉山 央都	柴田 咲来	小野寺理子	戸 澤 信	相馬 尊人	山口虎太郎	東山 蒼志	三角 亮賀
信任投票により全員当選	報道委員長	給食委員長	図書委員長	保健委員長	学習委員長	生活委員長	副委員長 JRC		JRC委員長	応援団副団長	
	館向 楓仁	松倉 歩睦	駒木 ゆめ	工藤 汰一	小野 藍生	佐藤 桃香	沼井 爽一郎	赤石 悠結	内沢 梓羽	平 麓空	七戸 藍斗

この選挙の結果を受けて、1・2年生は学級組織を新たに決めることとなります。新たなリーダーの誕生、自治活動の活発化、そして福岡中学校の更なる発展を期待しています。

今、求められる「豊かな表現力」を発揮して

9月2日（月）に開催された第26回「わたしの主張二戸地区大会」において、3年・下斗米美南さんが、見事「優良賞」に輝きました。学校生活での経験をもとに、周囲のみんなに考えてほしいこと、そして、自分はどうかありたいかを力強く訴えました。

また、9月4日（水）に開催された岩手県中学校英語弁論大会に出場した3年：國分多恵さん・澤藤愛心さん、2年：沢田莉菜さんの英語力と表現力は、とても素晴らしく高い評価を得ました。

以上4名の挑戦と努力を讃えたいと思います。👏

「まなびフェスト」アンケート結果から見えてきたこと ～その2～

前号では、アンケート結果を生徒回答に視点を当てお伝えしました。今号では、保護者回答に視点を当てお伝えします。

まなびフェスト「家庭に願う6つの内容」

※○はR5より上昇

学校教育目標	まなびフェスト 「家庭に願う6つの内容」	関連する 質問	保護者アンケート結果		
			R6.7月	R5.7月	R4.7月
【意欲に燃え、自ら学ぶ生徒（自学力）】	1 決まった時刻に机に向かう習慣を付けましょう	①	○78.1%	55.6%	/
	2 子どもと将来について話す機会を増やしましょう	⑦	○81.6%	80.6%	80.4%
【規律を守り責任を果たす生徒（自立協働）】	3 地域の活動に家族で参加しましょう	⑨	○45.9%	31.8%	/
	4 家庭での仕事や役割を分担しましょう	⑪	○62.2%	58.7%	64.1%
【剛健で実践力のある生徒】	5 早寝・早起き・朝ごはんを実行しましょう（朝食をとっている・生活リズムが整っている）	⑬⑮	82.9%	86.8%	84.9%
	6 子どもの睡眠に関心をもちましょう。 (R4は「お子さんは、睡眠時間を7時間以上とっている」の質問)	⑱	○82.2%	76.3%	79.5%

「5」「早寝・早起き・朝ごはん」を除き、どの項目も過去2年と比べて評価が高まっています。これまでの課題であった「1」「机に向かう習慣」・「3」「地域活動」への参加も上昇しています。引き続き、ご家庭のご協力をお願いいたします。

一方で、親子で結果が大きく異なる項目もありました。改めて、親子で取組を振り返っていただきたいと思います。【生徒と保護者で10%以上の差がある項目】

質問項目	生徒	保護者	差
家庭学習の勉強量は4月に比べて増えている	70.3%	48.4%	21.9
自分の将来(職業)について、家の人(お子さん)と話している。	59.7%	81.6%	-21.9
地域の活動に参加している(まつりの御輿、山車引きも含む)	69.6%	45.9%	23.7

《保護者と教員》

質問項目	保護者	教員	差
学校は、子どものよさを発見し、伸ばそうとしている	87.2%	100%	-12.8

この項目は「学校の果たすべき使命」として、さらなる努力を続けてまいります。

《生徒と教員》 ※教員の場合は「指導している」や「場を設けている」など

質問項目	生徒	教員	差
将来(進路・職業)の目標を実現させるために具体的に取り組んでいる	52.5%	81.8%	-29.3
メディアを1日何時間使っていいか決めている	65.6%	95.7%	-30.1

いずれも指導の成果が見えにくいものですが、生徒には「将来どのような自分になりたいか」その実現に向けた取組を支援していきたいと考えています。メディア利用は、学校でも指導しますが、「家庭の約束」が重要ですので学校との連携をお願いします。

最後に、学校評価の中でも最重要項目についてお示しします。

質問項目	生徒	保護者	教員
先生は、生徒の話をよく聞いてくれる。 (学校は相談できて情報交換しやすい)	89.5%	80.6%	91.3%
学校(先生)は、子どものよさ(生徒のいいところ)を発見し、伸ばそうとしている	91.8%	87.2%	100%
福岡中学校はいい学校だ	92.8%	94.4%	100%

「福岡中学校はいい学校だ」＝「幸福の岡」と皆さんから評価していただけるように、これからも頑張ってまいりますので、ご意見等ありましたらご遠慮なくお伝えください。